

2019年7月29日

内科領域とサブスペシャリティ領域との連動研修について（声明）

### 内科系学会の男女共同参画に関する連絡協議会

一般社団法人日本内科学会  
一般財団法人日本消化器病学会  
一般社団法人日本肝臓学会  
一般社団法人日本消化器内視鏡学会  
一般社団法人日本循環器学会  
一般社団法人日本内分泌学会  
一般社団法人日本糖尿病学会  
一般社団法人日本腎臓学会  
一般社団法人日本呼吸器学会  
一般社団法人日本血液学会  
一般社団法人日本神経学会  
一般社団法人日本アレルギー学会  
一般社団法人日本リウマチ学会  
一般社団法人日本感染症学会  
一般社団法人日本老年医学会  
公益社団法人日本臨床腫瘍学会

（公 印 省 略）

内科系学会の男女共同参画に関する連絡協議会は、日本内科学会と内科系学会の男女共同参画に関わる委員会等により2017年4月に設立されました。2018年4月から開始された新専門医制度では、内科領域を基本領域として研修を始めた2,663名のうち女性は787名で30%を占めています。日本専門医機構から内科系のサブスペシャリティ学会として認定された15学会（日本消化器病学会、日本肝臓学会、日本消化器内視鏡学会、日本循環器学会、日本内分泌学会、日本糖尿病学会、日本腎臓学会、日本呼吸器学会、日本血液学会、日本神経学会、日本アレルギー学会、日本リウマチ学会、日本感染症学会、日本老年医学会、日本臨床腫瘍学会）とともに日本内科学会は、当連絡協議会において内科系専門医の取得を目指す女性医師のキャリア形成を支援し、その結果として日本の内科領域の医療提供体制をさらに充実させるために必要な施策について議論を重ねてまいりました。

しかし、2019年3月22日の厚生労働省「医道審議会医師分科会医師専門研

修部会」において、2019年4月からの連動研修の認定が見送られました。その結果、すでに内科専門研修に登録した医師やこれから内科専門医やサブスペシヤルティ領域専門医を目指す研修医に混乱をもたらしています。

高度な技能を持つサブスペシヤルティ領域専門医の減少は、日本の医療レベルの低下に繋がります。一方で、超高齢社会における医療現場では、サブスペシヤルティ領域専門医も様々な領域の疾患を合併する症例に対峙しなくてはならず、内科専門医としての知識が必要とされます。全身を総合的に管理できるという意味でのジェネラリストである内科専門医は、同時にサブスペシヤルティ領域の知識や技術を合わせ持つことにより、日常診療において診断の確定や適切な治療がより一層可能となります。サブスペシヤルティ領域専門医の育成は、決してジェネラリストの数を減らしてしまうことには繋がりません。むしろ優秀なジェネラリストを育成するものと考えます。

私共は、男女ともにこれからの医療を担う若い世代が、内科を究めさらにサブスペシヤリストを目指したいと望むのであればそれを支援していきたいと考えます。特に女性医師は、出産・育児などのライフイベントと専門医取得を目指す研鑽時期が重なるため、今回の混乱は女性医師が内科専門医そのものを諦める契機となる可能性が高いものと危惧いたします。女性医師が内科医を諦めることは、ジェネラリストとしての道を断念することに繋がります。そして、女性が社会において活躍できる場を狭めることにほかなりません。すなわち、日本の医療にとって大きな損失となるだけでなく、女性の社会進出に対して影響をもたらすものと懸念いたします。

今後着実な増加が予想される女性医師が、内科領域の専門医取得を断念することなく、ジェネラリスト、そしてサブスペシヤリストとして十分に能力を発揮し社会に貢献できるように、内科領域とサブスペシヤルティ領域との連動研修も含め、専門医の取得方法に多様な選択肢が速やかに提示されることを望みます。